市長臨時記者会見の概要

10月6日、16:00~、201会議室

1 PFAS庁内対策会議を踏まえた緊急対応について

PFAS庁内対策会議を踏まえた

緊急対応について

発表内容

- PFAS庁内対策会議の開催
- 市所有井戸の検査対象の追加
- 柴崎市民体育館のプール使用の一時停止(安心確保)
- 小学校におけるスプリンクラー対応
- 大山井戸にかかる対応について
- 立川公園:根川せせらぎ水 (整備中)
- 市所有井戸のPFAS対応総数
- 今後のPFAS対策会議
- 質疑応答

PFAS庁内対策会議の開催

- 本日11時より、市長出席のもと、PFAS庁内対策会議を開催。
 - 協議内容は、市長より依頼した市所有井戸の確認
 - 緊急に対応を要する案件について
 - 今後のPFAS対策会議の在り方について

市所有井戸の検査対象の拡大

- 9月20日の定例記者会見にて発表したことの訂正
 - 市長からは市所有の井戸を確認したところ2か所との報告があり、防災用井戸と発表。
 - 市が継続的調査していた井戸は、上記2か所の他、19か所と発表。 19か所については民間所有井戸と発表したが、この中に1か所市所有の 井戸があった。担当は防災用井戸との認識で報告した。認識の相違があった。
 - 今回改めて、市所有の井戸で現在使用中または災害時等使用する可能性のある井戸を確認させたところ、9か所あることが判明。
 - 補正予算をいったん取り下げた理由のひとつには、一抹の懸念材料があった。

柴崎市民体育館のプール使用の一時停止

- 市民の安心に寄り添うため、指定管理者と調整し、明日7日よりプール使用を一時停止。水質検査を10月10日に依頼することとした。
- プール使用の一時停止は、安全ではないということではなく、地下水を利用していたことが判明したことより、利用者の不安に寄り添い、安全性を確認するための緊急措置。
- プールに関しては、定期的に水質検査を行っているので、指定管理者を通じて当該検査機関に検査項目にPFASを追加するもの。
- 検査日数はおおむね2週間ほどと聞いている。
- 柴崎市民体育館プールには、井戸供給管及び水道水供給管が敷設。切り替え作業の期間を専門知識を有する事業者に確認中。早期利用再開に向けて取り組んでいく。

小学校におけるスプリンクラー対応

- 市立第一小学校と第三小学校のスプリンクラー等に井戸水を使用していたことが判明。
 - 第一小学校については、スプリンクラーとトイレ洗浄水に、雨水・水道水・井戸水の混合水を使用。対応としては、揚水停止し雨水及び水道水で対応。
 - 第三小学校については、スプリンクラーに井戸水使用。揚水停止し、水道水で暫定対応。(タンク式のため)
- 上記2か所の井戸は、検査対象とする。

大山井戸にかかる対応について

- 当初検査対象としていた大山井戸について、防災用としていたが、平常時、上砂公園池と大山公園せせらぎ水としていたことが判明。
- 揚水停止し、検査結果が判明するまで、流水を停止する。
- 利用者の安心を優先するための措置。

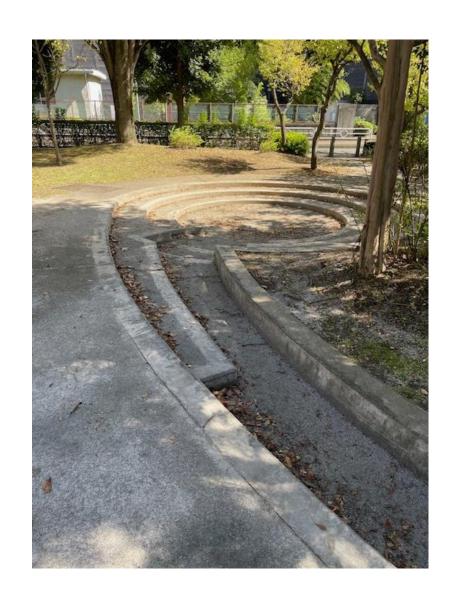
上砂公園池





大山公園せせらぎ水





立川公園:根川せせらぎ水(整備中)

- ・現在根川は、錦下水処理場の高度処理水利用。
- 錦下水処理場の下水が、今年度中に都流域下水道に編入されることに伴い、根川のせせらぎを維持するために、立川公園の2つの井戸を使用予定。
- 両井戸の水質確認後揚水し、使用を開始する予定。

市所有井戸のPFAS対応総数

区分	施設名	用途	当面対応	水質調査
小学校	第一小学校	校庭散水(スプリンクラー)、トイレ洗浄水 (雨水・水道水・井戸水の混合水)	揚水停止 雨水及び水道水で対応	補正予算対応
	第三小学校	校庭散水(スプリンクラー)	揚水停止 水道水で暫定対応	補正予算対応
防災用井戸	子ども未来センター			補正予算対応
	大山井戸	平常時、上砂公園池・大山公園せせらぎ水	揚水停止	補正予算対応
他施設	下水処理場	雑用水		補正予算対応
	クリーンセンター	災害時応援受入施設 非常用冷却水		補正予算対応
	柴崎市民体育館	プール	水質確認できるまでの 間利用停止	指定管理者水質調査

立川公園	井戸1	根川せせらぎ水	水質確認後揚水	補正予算対応
	井戸2	(整備中)		

今後の庁内PFAS対策会議

- これまで、両副市長を中心に対応してきたが、今後は市長をトップと する会議体とする。
- 参与など、専門知識を持った外部人材の任用も考えていきたい。

最後に

- 今回の市の対応は、PFAS汚染が判明したということではなく、市所有井戸の使用が判明したことにより、市民や利用者の不安を安心に変えていくため、迅速に対応していくという趣旨。
- 指定管理を除き、補正予算を提出し、早期対応を図ることで、実態把握を進め、その結果を受けて、市としての対応を進めていきたい。